

講義名	キャリア社会学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	桑原 桃音		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	44058

### 主題と概要

本講義では、まず、働き方の変化、多様な働き方について概観する。つぎに、働くことをめぐる個人と社会のかかわり・構造はどのようなものかを社会学の視点で読み解く。さらに、ライフコースの概念から職業キャリア以外のキャリアとは何かを理解したのち、就職した後の生活、引退後の生活をふまえながら、キャリアデザインについて学んだうえで、就職にとっての大学教育の意義について理解する。さいごに、働くことにかかわる変化とその課題について理解しながら、多様な労働者の働きやすさのために、あるいは多様な生活者の生きやすさのために求められる社会のあり方とは何かを検討し、考察する。

### 到達目標

- ・「働くこと」をめぐる個人と社会のかかわり、およびその変化と課題について社会学の視点を用いて理解し、説明することができる。
- ・将来の自分のライフコースを想定し、キャリアデザインについて理解したうえで大学生生活の過ごし方を考え、計画することができる。
- ・上記の知識と能力を用いて、現代日本社会においてキャリアにかかわる問題を検討し、働きやすさと生きやすさのために何が必要かを考察することができる。

### 提出課題

- ・授業時にワークシート、Respon等を課す
- ・不定期に課題、小テスト、グループワークで作成する成果物などを課す
- ・第8回に中間レポートを課す（受講生の様子を見て中間テストに切り替える場合もある）
- ・最終レポートの内容については講義時に詳細を説明する。ポータルの説明内容だけでは書けないので注意すること。

### 評価の基準

- ・平常点50%（出席点10%、講義内のペーパーや課題の提出40%）
- ・レポート50%（中間レポートor中間テスト10%、最終レポート40%）

### 履修にあたっての注意・助言他

- ・授業内でのディスカッション、ワークシートへの記入、Responの入力を積極的に行うことが評価につながる。
- ・欠席、遅刻が評価にひびくので注意すること。
- ・授業内で発言を求められること、ディスカッションをすることがある。積極的な授業態度が望まれる。
- ・他の学生が学習する機会、権利を侵害する行為（私語・携帯電話やスマホの使用・授業途中の入退出など）をする者はその日は欠席扱いとし、退出手を指示することがある。

### 教科書

・使用しない。

### プリント資料及び参考文献

- ・講義時に資料とレジュメを配布する。
- 【参考文献】
- ・小川慎一，山田信行，金野美奈子，山下充著『「働くこと」を社会学する：産業・労働社会学』（2015，有斐閣）
- ・阿部正浩，松繁寿和編『キャリアのみかた：図でみる110のポイント 改訂版』（2014，有斐閣）
- ・そのほか参考文献は適宜指示する。
- ・映像資料やインターネット上のサイトなども利用する。

### 授業計画

1. オリエンテーション
2. 働き方の変化、多様なキャリア
3. 働くことのしくみ（1）雇用システムと賃金格差
4. 働くことのしくみ（2）職場の人間関係と法
5. 働くことのしくみ（3）昇進・失業・転職・退職・起業・定年と老後
6. キャリアデザイン（1）ライフコース
7. キャリアデザイン（2）自分にあった職業とは何か
8. 中間レポート（もしくは中間テスト）
9. キャリアデザイン（3）就活と社会学
10. キャリアとジェンダー
11. キャリアとワークライフバランス
12. 働くこととダイバーシティ（1）グローバル化と「働くこと」
13. 働くこととダイバーシティ（2）生きやすさと働きやすさ
14. 予備
15. まとめ

### 予習・復習

予習：指定された参考文献、雑誌・新聞記事などの資料に目を通してくる。毎回ではないが、授業内で指定された資料を収集したり、その資料について要約したりしてことを予習として課す場合もある。

復習：授業時に配布した資料、ノートを見直すこと。さらに、授業で理解した知識を踏まえて、その内容について考察したことを文章化してノートに200字程度書くこと。

### 備考